

学校教育目標

豊かな人間力をもち、未来をひらく子どもの育成
～やさしく かしこく たくましい 西津を愛する子～

学級の実態

- ・素直で、学習に真面目に取り組める。
- ・刺激に反応しやすく、集中できる時間が短い。
- ・自分で判断することが難しいことがある。
- ・こだわりが強く、新しい学習につながらない場合がある。
- ・自分の考えを伝えることが苦手である。
- ・感情のコントロールが難しい。

こんな児童に!

- ・楽しい学校 不登校0人
- ・分からないことは自分で尋ねる子
- ・自分の気持ちと行動に折り合いをつけることができる子
- ・苦手なことに対しても、がんばろうとする気持ちをもつ子
- ・集団とともに、自分らしく行動できる子

学級目標

それぞれの すてきな 笑顔のつぼみ さかせよう!

人間性豊かな子

・児童理解を図り、児童との関係を良好に保つ。自己肯定感を大切に、安心して学校生活を送れるように配慮する。(個の関係)

- ・学級内で協力したり、励ましあったりできる活動を取り入れ、他者の温かさを味わわせながら、人との関わりの楽しさを経験させる。(小集団体験)
- ・交流学級や縦割り担当と連絡を密に取り、友だちどうしのかかわりの中での成長を見守る。学級外の児童との時間を大切に扱い、その経験の中で、協力・思いやり・感謝の心を育てる。(大集団体験)

自ら考え・学び合う子

- ・落ち着いた気持ちで学習できるように場や心の環境設定を工夫する。
- ・スモールステップや繰り返し、反復などで基本的な学力の定着を図る。(ICTの利用)
- ・個に応じた課題を設定し、支援の方法を工夫しながら、できる喜びを味わわせる。
- ・わかりやすい具体的な目標を持ち、見通しをもって学習に参加できるようにする。
- ・自立活動の時間を中心に、コミュニケーションの取り方、感情のコントロールの仕方等を身につけさせる。

心身ともに健康な子

- ・マラソン・なわとびなど小さな積み重ねを可視化し、自己目標を持って取り組み、達成感がもてるようにする。
- ・基本的な生活習慣の確立のため、児童への支援とともに、保護者との連携を密にする。

ふるさと大好き子

・生活科や社会科、いさりび学習などを通して、西津地区や小浜市の魅力を再発見し、ふるさとが大好きな児童を育てる。

- ・家庭連絡ノート、学級通信、電話連絡、家庭訪問、面談(学期に1回以上)などで保護者との連携を密にする。
- ・校内委員会等を活用して、児童の情報を全職員で共有し、児童の成長を全職員で見守っていけるよう働きかける。

- ・嶺南教育事務所特別支援教育課、嶺南西特別支援学校教育相談部、小浜病院等、関係機関との連携を図る。

